

CLUB

ツアラーをさらに
カッコよくする情報満載!

毎月14日発売
クラブ・ハーレー
定価 980yen

2013年3月号(毎月14日発売)
2月14日発売
第13巻第3号通巻141号

3 2013
March
Vol.152

HARLEY

ride the HARLEY-DAVIDSON.



【巻末特集】

ハーレー乗りの
ために進化した
デニムを選べ!



ツアラー 冬こそ ハイテク装備で 寒さを飛ばせ

のカスタムに挑戦したい

CUSTOM

1: クランク軸の回転を利用して、ベルトを介して過給器のタービンを回転させて外気を取り込む機構をエンジン左側に装備。ルックス的にもインパクト大
2: 取り入れた空気はフレーム前方のダクトを通してシリンダーに入る



Technology of the shop_

ローフェアリング装着には加工が必要。

エンジン左側のファンによって吸入された空気をスロットルボディに送るためのダクトは結構張り出している。そのままローフェアリングを装着することはできない。しかしスピーカー一体型で厚みのあるフェアリングを装着したいというオーナーの要望に応えるため、ステーになっているエンジン

ガードを途中でカットし、少し前方にオフセットさせて溶接してダクトとの干渉を避けている。この車両には付いていないが、もし冷却用のインタークーラーを付けるならばさらなる工夫が必要になる。こういった作業は信頼の置けるプロショップに依頼するのがベストだ。



フレーム前方を通るダクトはフェンダーとの干渉を避けるために少し削り取られている。こうした安全への配慮もショップのノウハウが生きる部分だ



トライジャ 岡本佳之さん

国内の有名カスタムショーで次々にアワードを獲得している大阪の巨匠。造形の美しさはもちろん、塗装や仕上げにもとことんこだわり、パーツのステータスひとつとっても一切妥協を許さない芸術家

普段使いたくても
楽しめませ!

ルックスが変わって、効果も実感しやすい。パワーアップ系カスタムといえど排気量の拡大やハイカム化が人気だが、夏場の熱ダレによる性能低下や低中速域を犠牲にしやすいなど、対策しなければならぬ課題も多い。そこで注目したいのがスーパーチャージャーだ。これはクランク軸の回転を利用して過給器のタービンを回し、シリンダーに大量の空気を送り込んでより多くのガソリンを燃焼させるものだ。中でも40〜80馬力アップを実現するプロチャージャー製品は、基本的にポルトオンで装着できるから導入が容易で、レースシーンでも使われるほど信頼性が高い。その特徴は極低速から加速、高速巡航といった全領域でのパワーアップが可能で、エンジンも非常にスムーズに回るところにある。

ただし、吸気カスタムなので空燃費の調整が必須で、キャブ車時代は非常に大変な作業だった。しかしFI車ならマッピングの書き換えで簡単に対応でき、その効果も実感しやすいと、トライジャ代表の岡本さんは太鼓判を押す。いま、スーパーチャージャーが熱いのである!

インジェクション車にこそプロチャージャーがおすすめ!

Custom Shop_ **TRIJYA** Model_ **FLHX TRIJYA-Bagger**

タウンユースから高速巡航まで、あらゆるシーンで力強い走りを実現するプロチャージャーの過給器システムは、ツアラーにこそベストマッチなパーツなのだ。

text/Y.Fujita 藤田佳照 photo/Y.Yoshimi 吉見幸夫
取材協力/トライジャ
TEL072-970-3110 www.trijya.com

低速から高速までスムーズに回転して扱いやすいのだ。



仲間が自然と集ま集まれる次世代を育てる空間。

タンクからリアフェンダーにかけてのラインの流れを重視して製作したバグーは、ドロップシートによってツアラーの迫力あるフロントをさらに強調している。ラメが入ったマットブラック塗装は、光のあたり方によってさまざまな変化を見せる



トライジャがプロデュースする「刻美」の新作「ムーンパークシリーズ」のダービーカバー。ミラーボールのような輝きがクール!

サドルバッグ後端に向かって流れるような一体感を演出するストレッチタンクはワンオフ。ダッシュカバーも合わせて製作している



ワンオフのシートには同店のロゴを刻印。エッジの立った造形で、トライバルパターンのペイントとの相性もバツグンだ

LEDのストップランプとウインカーはサドルバッグに埋め込み。リア周りをとことんシンプルに見せるためのアイデアだ



究極のカスタムに挑戦したい

Harley-Davidson Touring Family

05